

道徳学習指導案

- 1 日時 平成28年11月18日(金)
- 2 学級 第1学年2組 男子17名 女子15名 計32名
- 3 主題名 B-(6) 思いやり
- 4 本時のねらい

とべないホテルと他のホテルとの関係を通して、相手の立場や気持ちに配慮し、その思いに理解や共感することが大切だと気づき、思いやりの心をもって人と接することのできる道徳的態度を育成する。

- 5 資料名 とべないホテル【改作】(出典：ハート出版)
- 6 主題設定の理由

○ 主題観・価値観

「思いやりの心」は、自分が他者に接するときに必要な心の在り方である。それは、同情の心ではなく、他者の立場を尊重しながら、親切にし、いたわり、励ます生き方として現れる。学年が上がるにつれ、「思いやりの心」は理解できているものの、自立心の強まりとともに、言葉や行動としてうまく思いやりや感謝の気持ちを表現できないが増えてくる。思いやりや感謝の気持ちを素直に伝えようとする心が、他者に対してどんな接し方ができるかを考えさせ、結果として自分と他者との心の絆をより強くするのだということに気付かせることで、道徳的態度を育成できると考え、本主題を設定した。

○ 生徒観

本学級は、87%の生徒が「道徳の時間」を好きだと感じており、授業の中でも積極的に話し合ったり、発表したりする生徒が多い。また、学級全体の仲も良く、お互いに助けあったり、優しい声かけをしたりする場面も見られる。アンケートの、「人の気持ちがわかる人間になりたい」「人には親切にしたい」という質問に対して、それぞれ100%と96%の生徒が肯定的な評価をしている。その反面、実生活では、心ない言葉を言ったり、人をからかって面白がったりする生徒がいるのも事実である。このことから、授業を通して学んだ自分の思いや考えを自らの生活に結び付けることが必要であり、他者の立場を尊重しながら、親切にしたり、励ましたりする生き方を身に付けていくことが本学級の生徒のこれからの課題である。

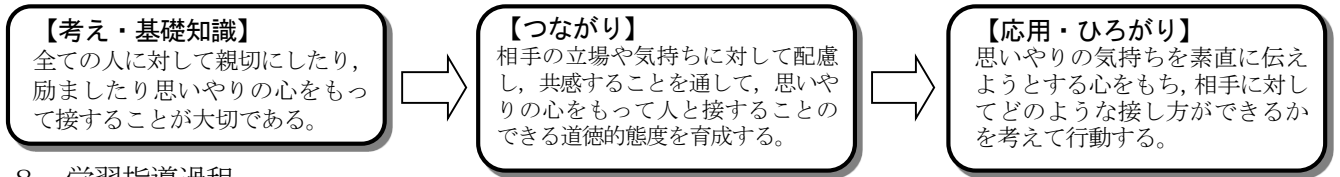
○ 資料観・指導観

本学級では、こぐまちゃんの絵本会の方に絵本を読んでもらう機会があり、普段から主人公の思いに共感しながら絵本に親しんだりしている。本学級の生徒は、小学4年生の時に学習発表会で「とべないホテル」の劇をしたり、道徳の授業で学習したりしたこともあり、資料自体に大変思い入れが強い。小学4年生のときには友情の大切さについて考えたが、本授業は、その根底にある思いやりの心について考えさせる。絵本に出てくる「とべないホテル」の人と違うことへの苛立ちや劣等感、そのホテルに対しての「他のホテル」がもっている思いやりの心は、普段の生活の中で、どちらも経験しうることである。このホテルたちの思いに共感させ、実生活でも思いやりの心をもって人と接することのできる道徳的態度を育成したい。

また、本学級の生徒はアンケートの中で「話し合いをすることで、自分の思いや考えを深めることができていると思う」という質問に対して、93%の生徒がそう思うと答えており、他の意見を聞き、その意見について質問して意見を掘り下げて考えることで、より深まった思いや考えがもてる

ようにしていく。そのために、切り返しの発問を用意し、生徒の心情に揺さぶりをかけていく。

7 「主体的な学び」を意識した指導計画



8 学習指導過程

段階	学習活動	指導上の留意事項 (◇) (主な発問 (○), 中心発問 (◎), 予想される生徒の反応 (・))	評価 (評価方法)
導入	1 課題意識をもつ。 ・ アンケートの結果から本時の視点を確認する。	◇ 実生活に置いての言動や行動についてのイラストと「人の気持ちがわかる人間になりたい」「人には親切にしたい」の肯定的評価の数値を確認して問題提起する。	
展開	2 資料「とべないホテル」を読んで話し合う。	協働 こぐまちゃんの絵本会の方に紙芝居を使って朗読してもらう。 ◇ 資料の要点を黒板に貼る ◇ 価値項目の理解を深める。	
		○ 他のホテルの行動を自分だったらできますか？できませんか？ ・ かわいそうだから ・ 何か役に立ちたい ・ 大事な仲間だから 【できない】 ・ 捕まったら帰ってこられないかもしれない ・ こわい 【どちらともいえない】 ・ 助けてあげたい気持ちはあるけれど勇気がない	
		◇ 心情円盤を使ってペアトークをさせ、数名に発表させる。 ○ 他のホテルの行動についてどう思いますか。 ・ 身代わりになってまでとべないホテルを助けてすごい。 ・ こんな行動ができるホテルは優しい。	
	◎ 他のホテルがとべないホテルを身代わりになってまで助けたのはどんな思いがあったからでしょうか。 ・ 何か役に立ちたいとずっと思っていたから。 ・ 自分たちにとって大事な仲間だから。 ・ 仲間なんだから困ったときは助け合いたい。 ・ 捕まったらかわいそうだから。	◇ 他のホテルが取った行動は同情ではないことを押さえる。 ○ 「かわいそうだから」という気持ちだけで身代わりになったのですか？ ○ 自分が死んでしまうという可能性があるのに助けたのはなぜですか？ ◇ 他のホテルは誰に対しても思いやりの心をもっていることを押さえる。 ○ とべないホテルが「とべなかった」から助けたのですか？	

	<p>○ 「思いやり」はなぜ大切なのでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ お互いを思いやって行動することで争うことが減るのではないか。 ・ お互いが気持ちよく生活できる。 ・ 思いやりがないと、みんなが好き勝手にして世の中がぐちゃぐちゃになる。 ・ 思いやりがないとイライラして揉め事が増える。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 各グループの「話し合いのススメ」カードとホワイトボードを準備し、話し合いを円滑にする。 ◇ 学習グループに分かれて話し合う前に個人で考える時間を取ることで自分の意見をしっかりもたせる。 ◇ グループで出た意見をまとめたホワイトボードを黒板に貼り、意見交流を行う。 	<p>とべないホテルと他のホテルとの関係を通して、相手への同情からではなく、相手のことを尊重して親切にしたりすることが大切だと気付くことができた。 (発言、ワークシート)</p>
<p>終末</p>	<p>3 本時のまとめを行う。</p> <p>生徒のまとめ例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辛かったり、悲しんだりしていることに気付き、声を掛けられる人になりたい。 ・ 思いやりの心をもって、人と関わっていきたい。相手のことを考えた言動や行動をしていきたい。 ・ まずは身近な仲間を大切にしたい。そして誰に対しても平等に接したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 実生活につなげてまとめさせる。 ○ 本時で感じたことや考えたことを自分の生活と結び付けてまとめましょう。 	
	<p>4 説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 生徒数名に発表させ、まとめにつなげる。 ◇ 導入での話を想起させる。 <p>協働こぐまちゃんの絵本会の方から、本時の授業の感想を話してもらおう。</p>	
<p>9 板書計画</p>			

5班	1班
6班	2班
7班	3班
8班	4班

○ 「思いやり」はなぜ大切なのでしょう。

◎ 他のホテルがとべないホテルを身代わりになってまで助けたのはどんな思いがあったからでしょうか。

・ かわいそうだから
・ 見守るだけではなくできることをしてあげたい
・ 大事な仲間だから見捨てるわけにはいかない
・ とべなくても大切な存在だから

思いやり

とべないホテル
とべないホテル…羽がちぢれてとべない
みんな自分のことはどうでもいいと思ってる
→身代わりになって助ける
他のホテル…とべないホテルを見守っている
どうやって接したらいいか考えている
←部屋の中をとんで見せる
まさちゃんたちへの優しさ
まさちゃんたち…足のわるい妹にホテルを見せてあげたい